

熊本外語専門学校 日本語科 募集要項

進学2年コース・進学1.5年コース※開講予定
(2022年4月入学・2022年10月入学)

I. 科について

1. 目的

この科は日本において大学、大学院や専門学校に進学するために日本語の知識を提供し、同時に日本と外国との相互理解に貢献することを目指す。

2. 入学と修学期間

進学2年コース（4月入学）は2年（24か月）が修了に必要な期間である。

※進学1.5年コース（10月入学・開講予定）は1.5年（18か月）が修了に必要な期間である。

3. 到達目標

1) 進学2年コース（4月入学）

N1～N2取得および大学進学、専門学校進学を目標とするコースである。レベル別に進度A・進度Bの2クラスに分かれ、進度Aは大学進学を、進度Bは専門学校進学を主な目標とする。入学時に行うプレメントテスト、および聴き取り調査等でクラスを決定するが、目標が変更となった場合などにはクラス変更も可能である。

▽進度A 大学進学希望クラス（N1目標）

初級	約570時間
中級	約670時間
上級	約410時間

▽進度B 専門学校進学希望クラス（N2目標）

初級	約830時間
中級	約830時間

2) 進学1.5年コース（10月入学）

N3取得および専門学校進学を目標とするコースである。

※N2レベルの日本語力が必要な専門学校進学を希望する場合は、4月入学がより適している。

初級	約800時間
中級	約400時間

4. プログラム修了の要件

原則として90%以上の出席と学期末に行われる試験科目のそれぞれにおいて60%以上の成績を上げること。

※本校は、転校、転入は認めていない。

Ⅱ. 学校情報

1. 授業時間

1 時間目	9 : 00～9 : 50
2 時間目	10 : 00～10 : 50
3 時間目	11 : 00～11 : 50
4 時間目	12 : 00～12 : 50
昼休み	
5 時間目	13 : 40～14 : 30

※月・金 : 1～4 時間目

火・水・木 : 1～5 時間目

一週間=23時間

- ・授業は月曜から 金曜まで毎日行われる。
(夏休み、秋休み、冬休み、春休み、土、日、祝日を除く)。
- ・全ての授業は日本語で行われる(直接教授法)。副教材、
CD、パソコン等を使い行われる。

2. 年間行事予定

4 月	入学式
5 月	親睦会
6 月	日本留学試験①
7 月	日本語能力試験①・夏休み
8 月	研修旅行・前期定期試験
9 月	秋休み
10月	入学式(予定)・スポーツデイ
11月	日本留学試験②
12月	日本語能力試験②・辛島祭・冬休み
1 月	初詣
2 月	後期定期試験
3 月	修了式・春休み

Ⅲ. 試験要項

1. 募集人員

進学2年コース 入学者数 25名

※最大入学者数 40名/年

※進学1.5年コース（開講予定）入学者数 15名

2. 入学資格

原則的にこの科は、このプログラム終了後、日本において大学、大学院や専門学校に進学する意図を持つ学生の為に設けられたものである。各志願者は次の要件を満たさなければならない。ただし、学校長が認めればその限りではない。

- 1) 母国あるいは海外において、高等学校以上の教育の卒業者
(初等中等教育において最低限12年の勉強を修了した者)
- 2) 本科によって入学の資格ありと認められた者
- 3) 日本での学費及び生活費を含む必要経費を支払う能力のある者、あるいは必要経費を支払うことができる金融面の支援者がいる者
- 4) 日本語教育機関で日本語を150時間以上履修し、かつ、日本語能力試験N 5 レベル以上の日本語能力のある者
- 5) 留学の明確な目標を持ち修了後の進路が明らかな者
- 6) 年齢が18歳以上である者
- 7) 心身ともに健康であり、日本国法令および本校の学則・諸規定を順守する者

3. 出願期間

入学時期	出願期間
進学2年コース（4月入学）	2021年8月下旬～11月中旬
進学1.5年コース（10月入学・開講予定）	2022年3月下旬～4月中旬

4. 出願方法

必要書類を郵送する。

5. 選抜方法

選抜は主に、出願者によって提出された書類、筆記試験及び本校スタッフによる面接に基づいて行われる。

6. 合否通知

合格者は通知を受け取った日から1週間以内に入学金を指定口座に振り込むこと。本校はそれを受けて入学許可証を送付する。

Ⅲ. 試験要項

7. 入学までの流れ

留学ビザ申請者

				進学2年 コース (4月入学)		進学1.5年 コース (10月入学 ・開講予定)
1	申請者 ↓ 本校	出願書類提出、出願料の納付	……	8～11月	…	2～5月
2	学校 ↓ 申請者	・入学試験（書類審査・筆記・面接） ・合否決定、通知	……	8～11月	…	2～5月
3	申請者 ↓ 本校	入学金の納付	……	11月下旬	…	5月下旬
4	本校 ↓ 入管	「在留資格認定証明書」の申請	……	12月初旬	…	6月上旬
5	入管 ↓ 本校	在留資格認定証明書交付審査の結果通達	……	3月上旬	…	9月上旬
6	本校 ↓ 申請者	「在留資格認定証明書」「入学許可書」の コピー送付	……	3月上旬	…	9月上旬
7	申請者 ↓ 本校	授業料・施設維持費・教材費・研修旅行費 ・寮費の支払	……	3月中旬	…	9月中旬
8	本校 ↓ 申請者	ご入金確認後、在留資格認定証明書の原本、 入学許可書の原本を送付	……	3月中旬	…	9月中旬
9	申請者 ↓ 大使館/領事館	ビザ取得申請	……	3月中旬	…	9月中旬
	来日	航空チケットを予約し、到着便等をお知らせください	……	3月下旬	…	9月下旬

Ⅲ. 試験要項

8. 出願書類 留学ビザ申請者

【注意事項】

- 1) 書類は、国内外で発行3か月以内のものを提出してください。
- 2) 証明書類は、発行者の肩書・氏名・発行機関所在地・連絡先が記載され、発行者の署名（押印可）がなされたものを提出してください。
- 3) 外国語で作成された書類には、各書類ごとに日本語訳を必ず添付してください。
英語以外の外国語については、原文とその英訳、日本語訳が必要です。
- 4) 署名は本人が直筆で記入してください。
- 5) 申請者の国・地域や個々の事情により、記載以外の書類が必要な場合があります。

	申請人本人が準備する書類	備考
☐	1 入学願書	・ 氏名はパスポートに記載された氏名を記入
☐	2 履歴書	・ 学歴や職歴に空白期間が6か月以上ある場合、別途理由書を添付 ・ 学歴や職歴が不規則な場合も証明が必要
☐	3 留学理由書	・ 学習目的・将来の展望について明確に記入
☐	4 パスポート／IDの写し	・ パスポートを所持している者のみ ・ 記載のある全てのページの写しを提出
☐	5 最終学歴の卒業証書／卒業証明書 ／卒業見込み証明書	・ 日本語学校は除く。
☐	6 最終学歴の成績証明書	・ 日本語学校は除く。 ・ 年度毎の成績が記載されているもの ・ もし在学生であれば、最も新しい成績表
☐	7 在学証明書	・ 該当者のみ。原本提出
☐	8 日本語能力試験N5相当以上の試験結果	・ 日本語能力試験（JLPT）N5レベル以上の合格証 ※結果待ちの場合は、受験票を提出
☐	9 日本語学習証明書	・ 日本語能力試験N5レベル以上の合格証がない場合、150時間以上の日本語学習証明書が必要 ※担当教師または責任者が記入し、学校長の承認印を受けたものを提出すること。コースの名称、コースの総学習期間・学習時間数、出席率、実学習時間、履修内容、コースの目標到達レベル、使用教材などを明記
☐	10 在職証明書（該当者のみ）	・ 申請時に職業に就いている場合 ・ 在職期間及び職務内容の記載のあるものを提出する
☐	11 健康診断書	・ MMRと結核の診断は必須
☐	12 戸籍謄本写し	
☐	13 証明写真（3枚）	・ 縦4cm×横3cm。過去1カ月間に撮られ、正面、無帽、無背景で明瞭なもの ・ 写真の裏に出願者の氏名を書く。・ 写真の1枚は入学願書に添付 ※修正を加えたものは使用しない。
☐	14 過去の出入国・在留歴・申請歴の証明書 または説明書	・ 過去に申請歴、在留歴がある方は必ずお申し出ください ・ 日本での職歴がある場合は、在籍期間及び職務内容の記載のあるもの （例：在職証明書原本、給与明細の写し、年金手帳の写し等） ※技術研修等で来日していた場合、帰国後の就業証明書または在職証明書を提出すること。

Ⅲ. 試験要項

8. 出願書類 経費支弁関係

経費（日本滞在中の学費、生活費等）支弁者の提出書類は、次の（A）（B）（C）のいずれかを提出する。

（A）出願者本人が自己負担する場合

	経費支弁関係の書類	備考
☐	1 経費支弁書（本人支弁）	・経費支弁者本人が記入
☐	2 在職証明書	・会社員の場合は、会社発行の在職証明書 ・会社役員や個人経営の場合は営業許可書や法人登記簿謄本
☐	3 本人名義の預金残高証明書	・銀行指定の正式な用紙に、銀行の所在地、電話・FAX番号等が明記されている証明書を提出。海外送金可能な銀行の証明書を提出
☐	4 所得・納税証明書	・納税証明書は税務署発行のものを提出 ・国・地域によって直近3年間のものが必要
☐	5 経費を作るに至った経緯のわかる銀行預金の証明書等	・銀行指定の正式な用紙に、銀行の所在地、電話・FAX番号等が明記されている証明書を提出すること。海外送金可能な銀行の証明書を提出すること ・国・地域によって直近3年間のものが必要

（B）本人以外が本国からの送金により支弁する場合

	経費支弁関係の書類	備考
☐	1 経費支弁書（本人以外の支弁者）	・経費支弁者本人が記入
☐	2 在職証明書（会社員の場合）	・勤務先の名称、所在地、電話・FAX番号、Eメールアドレス、在職期間、職務内容が明記されているもので、所属先の長の証明があるものを提出
☐	3 登記簿謄本・営業許可証の写し（会社役員の場合）	・勤務先の名称、所在地、電話・FAX番号、Eメールアドレス、在職期間、職務内容が明記されているもので、所属先の長の証明があるものを提出
☐	4 所得・納税証明書	・納税証明書は税務署発行のものを提出 ・国・地域によって直近3年間のものが必要
☐	5 経費支弁者本人の名義の銀行預金残高証明書	・銀行指定の正式な用紙に、銀行の所在地、電話・FAX番号等が明記されている証明書を提出すること。海外送金可能な銀行の証明書を提出すること ・国・地域によって直近3年間のものが必要
☐	6 経費を作るに至った経緯のわかる銀行預金の証明書等	・直近3年間の資産形成が分かる資料（入出金証明、通帳のコピーなど） ・入出金証明が3年分ない場合、その理由と、預金残高証明書の資金が形成された説明書を提出
☐	7 出願者との関係を立証する書類	・出願者と親族関係にあるときは、戸籍謄本等公的書類で証明 経費支弁者の身分証明書写し・出生証明書写し・戸籍謄本写し ・親族関係にない場合は、その関係を具体的に証明する書類を提出

（C）在日の経費支弁者が支弁する場合

	経費支弁関係の書類	備考
☐	1 経費支弁書（本人以外の支弁者）	・経費支弁者本人が記入
☐	2 在職証明書（会社員の場合）	・勤務先の名称、所在地、電話・FAX番号、Eメールアドレス、在職期間、職務内容が明記されているもので、所属先の長の証明があるものを提出
☐	3 登記簿謄本原本・確定申告書の写し（会社役員の場合）	・勤務先の名称、所在地、電話・FAX番号、Eメールアドレス、在職期間、職務内容が明記されているもので、所属先の長の証明があるものを提出
☐	4 所得証明書・納税証明書	・納税証明書は税務署発行のものを提出 ・国・地域によって直近3年間のものが必要
☐	5 経費支弁者本人の名義の銀行預金残高証明書	・銀行指定の正式な用紙に、銀行の所在地、電話・FAX番号等が明記されている証明書を提出すること。海外送金可能な銀行の証明書を提出すること ・国・地域によって直近3年間のものが必要
☐	6 経費を作るに至った経緯のわかる銀行預金の証明書等	・直近3年間の資産形成が分かる資料（入出金証明、通帳のコピーなど） ・入出金証明が3年分ない場合、その理由と、預金残高証明書の資金が形成された説明書を提出
☐	7 出願者との関係を立証する書類	・出願者と親族関係にあるときは、戸籍謄本等公的書類で証明すること。 ・親族関係にない場合は、その関係を具体的に証明する書類を提出
☐	8 住民票	・世帯全員分の住民票
☐	9 在留カード	・写しを提出

Ⅳ. 学費等・支払スケジュール

A. 学費

進学2年コース（4月入学）

	1年次	2年次
①出願料	15,000円	—
②入学金	50,000円	—
③授業料	490,000円	490,000円
④施設維持費	50,000円	50,000円
⑤教材費	40,000円	40,000円
⑥研修旅行費※1	40,000円	—
小計	685,000円	580,000円

進学1.5年コース（10月入学・開講予定）※2

	1年次	2年次
①出願料	15,000円	—
②入学金	50,000円	—
③授業料	490,000円	245,000円
④施設維持費	50,000円	25,000円
⑤教材費	40,000円	20,000円
⑥研修旅行費※1	30,000円	—
小計	675,000円	290,000円

B. 寮費等初期費用（概算・1年次の支払）

内訳	金額（円）	備考
1 寮費（半年分）	約120,000～162,000円	家賃は1か月約20,000円～
2 礼金（2か月分）	約40,000～54,000円	
3 火災保険料（2年分）	約5,000円	
4 雑費	15,000円	部屋クリーニング、備品整備費等
5 学生保険（2年間）	約15,000円	
6 国民健康保険料	約20,000円	加入必須。初年度は2万円程度。2年目は、1年次の日本での所得によって変わる
7 レントゲン（2回分）	2,000円	
8 布団	約13,000円	
9 写真	400円	
10 日本語能力試験出願料 （3～4回分）	26,000円 ※19,500円	能力試験は、2年間4回分をあらかじめ徴収 ※10月生は3回分徴収（計19,500円）
小計	約249,900円～	

◆初年度納入費用＝A（1年次）＋B

進学2年コース（4月入学）	進学1.5年コース（10月入学）
約941,400円	約924,900円

※1 ⑥研修旅行は年に1回の宿泊または日帰り研修を予定しています。

※2 10月入学は、先に1年分の納入をお願いいたします。

●お支払いの注意

上記A. 学費およびB. 寮費等初期費用を、在留資格認定証明書のコピーを受け取った日から1週間以内に指定口座に振込をお願いします。

※各費用は、概算です。これより高くなる場合もあります。また、多く徴収した場合は来日後に返金致します。

※来日時に本校職員が迎えに行った場合は、後日、交通費を別途徴収いたします。

IV. 学費・支払スケジュール

●授業料の支払いについて

授業料は半期ごとに分割払いできる。その場合、1年次は在留資格認定書受け取り時と2022年9月末までに、2年次は2023年3月末と9月末までに、それぞれ245,000円支払うこと。ただし、授業料以外の分割は認めない。

●寮費について

寮費は、在留資格認定書受け取り時に、原則半年分を一括納入。分割等ご希望の場合は、ご相談ください。

3. 支払スケジュール

			進学2年コース 2022年4月入学	進学1.5年コース 2022年10月入学（開講予定）
入学前の 支払	①	出願料	出願時	
	②	入学金	合格が通知された日から1週間以内に指定口座に振込	
1年次	③	授業料	在留資格認定証明書のコピーを受け取った日から 1週間以内に指定口座に振込	
	④	施設維持費		
	⑤	教材費		
	⑥	研修旅行費		
	⑦	初期費用		
2年次	⑧	授業料	2023年3月末日まで	
	⑨	施設維持費		
	⑩	教材費		

※払い戻しについての注意

以下の理由以外は、一旦支払われた納入金は払い戻されない。

- ① 「在留資格認定証明書」が発行されない場合
…出願料以外の納入金は払い戻される。
- ② ビザが日本国在外公館によって発行されない場合
…ビザが発給されなかったことを証明する文書が提出されれば、出願料以外の納入金は払い戻される。
- ③ 個人的理由で出願者が入学を辞退する場合
…「在留資格認定証明書」は必ず返却しなければならない。返却されれば、出願料と入学金を除く納入金は払い戻される。

4. 受験料払込先

銀行と送金口座

肥後銀行本店 普通預金口座1438666 学校法人辛島学園（カラシマガクエン）
 電話 81-96-325-2111
 FAX 81-96-352-0508
 住所 860-0017 日本国熊本県熊本市中央区練兵町1番

※送金は日本円でなされること。また、送金手数料は出願者の負担とする。

V. 学校生活について

1. アルバイト（資格外活動）について

アルバイトを希望する場合は、入国時に「資格外活動許可証」を取得すること。また、許可された範囲を超えてアルバイトをした場合は、違法となり罰せられる。

①労働時間は、週28時間以内である。（長期休暇期間中は、1日8時間以内）

②法律に違反するアルバイトは禁止されている。バーやパチンコ店など（風俗関係）で働くことはできない。

2. 宿所（住居）

原則として学校指定のアパートに居住し、ルームシェアの形となる。各部屋にかかる家賃、光熱費その他の料金は、各部屋の同室者で負担する。寝具、生活用品は各自で用意すること。

※ただし、家族と居住する場合はその限りではない。

内訳		一人当たりの目安
初期費用	礼金（2か月分）	約40,000円
	火災保険料（2年分）	約5,000円
毎月の費用	家賃	約20,000～27,000円
	光熱費	約7,000円
	インターネット料金	約2,000円

※費用は目安で、これより高くなる場合もある。